



日本SPF豚協会だより

2024.10
No.97

提言

「身近にできる防疫は人から！」

日本SPF豚協会 副会長
伊藤忠飼料(株)研究所 所長

渡辺秀樹



2024年、畜産界は様々な逆風にさらされています。飼料費の実質負担の増加、運送費コストアップは言うまでもなく、将来的な課題として生産年齢人口減少による労働力確保問題などいよいよクローズアップされてきました。こういった社会的課題に関しては、官民による仕組み、制度の見直し、技術革新による作業効率化など、関係者の一体となった取り組みが必要となってくるでしょう。疾病面における問題も同様に社会的課題を含んでおり、コロナ以後、円安も拍車をかけたインバウンドの増加は、海外からの疾病侵入のリスクを大きく高めることとなります。7月5日に開催された「日本SPF豚研究会第32回研究会」での鹿児島大学・伊藤聡先生の講演では、アフリカ豚熱の侵入リスクの高い地域などを具体的に分析されていました。いよいよ国内発生もカウントダウンに入っているのかと危機感を高めざるを得ません。農水省も特定家畜伝染病防疫指針を見直すなどして、蔓延防止に備えた対応は進めているようですが、業界のみならず、一般の方々への啓蒙にもより力を入れる必要があるのではと感じています。

話を農場レベルの防疫に向けたと思います。私は役員柄グループ養鶏会社の防疫状況チェックを毎年行っています。農場も全国にいくつかありますが、農場の立地条件や設備の新旧などにより、防疫状態をはかる物差しは少しずつ異なってきます。しかし、共通しているのは「人」のモチベーションの問題だと感じています。もちろん、今時疾病の侵入に対して無関心な人はいませんし、日々悩まれており、指摘を行えば真摯に受けとめて対策を検討してもらえます。問題は、人の本質にかかわる部分です。意地悪な書き方をしますが、「人は易きに流されるもの」、「人は忘れるもの」なのです。話は少し変わりますが、労働災害防止のための管理者講習などを受けると、労災の発生要因には

「不安全な状態」と「不安全な行動」があると教わります。防疫にも通ずる考え方ですが、前者は設備や仕組みの欠陥、後者は人の行動の欠陥となります。行動の欠陥には、「単純ミス」、「能力不足」、「手抜き」などに加えて「近道行動」、「忘却」、「勘違い」、などがあげられます。最後に挙げた3項目はまさしく人の本質にかかわる部分でしょう。

生産現場では作業性が優先されがちなので、正規の手順を踏まず省略化しそれが常態化しているケースを見かけます。また、指摘された瞬間は行動を変えても、1年もすると元に戻っていたといったことも散見されます。これらの対策として私は以下のようなことを心がけています。①第三者の指摘を取り入れること。SPF豚農場は極力人の出入りを制限していますので、グループ内や仲間内であっても農場間で相互にということは難しいところもありますが、従業員が普段の担当と違う場所を見ることでもいいと思います。また、その場合は、普段から意見を言い合える職場雰囲気を整えておくことも重要です。②繰り返し伝えること。注意すべきは、ただこれをやれ、やるな、だけでなく、その行動の意味を伝えることが必要です。時には厳しく接することも必要になると思いますが、動機付けて習慣化させることが重要です。そして、③全員に正確に伝えること。特定の人にだけ伝えると、伝言ゲームのようになり誤って伝わってしまう場合があります。文書に残すのもいいですし、出来るだけすべての関係者に同じニュアンスで伝えることが必要です。

最近では、防疫レベルの高い農場において豚熱や高病原性鳥インフルエンザの発生が見られており、イノシシやカラス、ネズミなど野生動物相手では対策に限界があると感じられている方も多いいと思います。「身近にできる防疫は人から」。これは防疫のみならず、生産成績の改善にもつながっていくと思います。

SPF豚セミナーは来年1月開催に 認定業務はクラウドサービス活用に本格移行

—上半期の事業推進について—

協会では役員会、ピラミッド会議の位置づけについて協議し、役員会をピラミッド理事で構成し隔月開催、必要に応じて実務担当者を招集してピラミッド会議に代えることといたしました。
上半期の事業推進状況についてご報告いたします。

●セミナーの開催について

SPF豚セミナーについて、今年度も2025年1月下旬に開催することとし準備を進めております。昨年度同様会場参加とオンライン参加併用のハイブリット方式とします。恒例の2023年度CM農場生産成績年次報告、2024年度優秀CM農場表彰のほか、講演を2題、また、高成績農場による事例報告等も検討しています。講師候補を絞って依頼、準備を進めていくこととしました。また、昨年度から復活したセミナー後の懇親会も行います。詳細については次号の協会だよりやホームページ、メール配信等でご案内いたします。

CM農場の表彰については、選考委員会を開催、選考基準に基づき、受賞候補農場を選出いたします。所属ピラミッドにより当該農場の農場設備・管理等が表彰にふさわしい高水準にあることを確認し、決定いたします。セミナーにおいて、選考委員長による経過・講評とともに発表、表彰式を執り行い、表彰状およびトロフィーを授与いたします。

●認定業務のDX化について

プライベートクラウドサービス「MOPS」を活用した認定申請、審査をスタートさせました。6月期の認定委員会で試行、9月の認定から本格導入しております。

「MOPS」を活用した認定業務については、5ページの「TOPICS」で紹介しておりますのでご参照ください。

●次世代交流会について

昨年度より事業の大きな柱と位置付けている世代交代、若手のSPF養豚・協会事業に対する理解と当事者意識の涵養のため、今年度も次世代交流会を開催することとしました。昨年度の出席者を中心に、意見交換・交流を主としたものと考えています。

開催時期は11月頃を予定し、内容についてはピラミッドの協力を仰ぎながら、役員会等で検討いたします。また、農場後継者・若手従業員を対象にした交流については、別の開催方法を検討することといたしました。

●代議員制度と定時総会のあり方について

協会は定款に基づき、代議員制度を設けております。現在第4期、地域選出代議員15名、ピラミッド選出5名の計20名で構成されております。任期は5年です。代議員は毎年6月に開催される、協会最高決定機関である定時総会の構成員となっております。改選期（令和7年6月）に向けて、定款の変更を含め、総会のあり方、代議員制度の見直しについて協議します。また、理事会については、現在の3月末開催に加えて、上半期終了後の開催を検討いたします。

●その他

協会ホームページの運用、協会の将来像および認定制度のあり方、抗生剤を使わない養豚のあり方、成績低迷農場の改善、ワクチン費用対効果の現状調査等について協議し、引き続き検討を重ねていくこととしました。

認定農場の暑熱対策

去年も猛暑、今年も猛暑、今年の豚価にもだいぶ影響を及ぼしたといわれています。皆様の今年の暑熱対策はいかがだったでしょうか？協会では、各ピラミッドにご協力いただき、認定農場における取り組みを聞き取り調査しました。ここで事例の一端をご紹介したいと思います。大きく分けて、**1.設備**、**2.資材**、**3.管理**についてまとめました。

また、認定CM農場の暑熱による生産成績への影響について、坂口一平・協会副会長にまとめていただきましたので併せてご紹介します。

1. 設備

- ①クーリングパッド：繁殖豚舎、肥育豚舎
- ②トンネル換気システム：繁殖豚舎
- ③屋根の二重構造（天井）による熱の侵入防止：肥育豚舎
- ④デザートクーラー：繁殖豚舎
- ⑤舎内送風ファン：繁殖豚舎・肥育豚舎
- ⑥業務用エアコン：雄豚舎、分娩舎

これらの設備については、豚舎新築時に構想していないと、

あとからの改造では難しいことが多いですが、デザートクーラーや送風ファンについては、設置する価値はありそうです。

また雄の性能維持のため業務用のエアコンを設置している農場もあります。

2. 資材

①寒冷紗による日除けの設置：各豚舎 ②ドリップクーリング：母豚 ③凍結ペットボトル利用による氷水滴下：母豚 ④送風ファンまたはダクトファン+細霧装置

寒冷紗による、日射による熱の侵入防止は昔からおこなわれています。寒冷紗に散水ホースで気化熱を利用して冷やすという方法もあります。豚への対策として、母豚へはドリップクーリングが一般的ですが、2Lのペットボトルの水を凍らせて首筋に冷水を滴下するのも有効で母豚の死亡が減少したとの話もあります。そのほか細霧装置とファンを併用して気化熱で温度を下げるという農場も多いようです。また、衛生対策を兼ねて毎日動噴で豚舎の消毒を行うことも重要、とのことでした。

3. 管理

①洗腸、冷水での肛門注入で冷やす ②雄豚のケア、精液検査、AI手順の確認 ③夏場用専用飼料、サプリメントの給与 ④換気扇の風量や温度の測定により機器の適切なメンテナンス ⑤良

い繁殖候補豚の育成 ⑥清潔な豚舎の維持

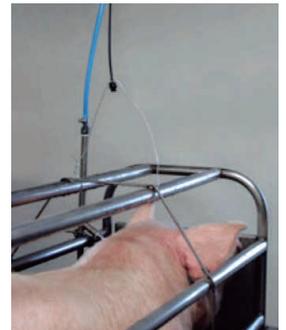
洗腸は古典的な手法ですが、母豚の体を冷やすのに有効です。また、雄豚のケアが重要で、特に本交・自家採精の場合、繁殖成績にもろに影響がでます。機器も同様です。

基本に忠実に母豚を育成すること、豚舎を常に清潔に保つことが重要であるという意見もありました。また、先輩たちが「豚は風で飼え」と言っていたという話もありました。

どれも基本的な対策で特別なものではないかもしれませんが、ぜひ農場運営の参考にさせていただき、これから毎年やってく夏酷暑から豚を守っていただきたいと思います。



冷風扇アニマルチラー
(提供：全農畜産サービス(株))



ドリップクーリング
(提供：全農畜産サービス(株))

認定CM農場における夏場の交配が繁殖成績に与える影響の検討

月	A農場		B農場		C農場		D農場		E農場		F農場		G農場	
	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数
3	96.9	4,609	94.3	4,059	94.3	3,117	90.4	1,533	78.1	2,174	93.2	2,939	81.5	2,979
4	90.9	3,720	106.7	4,131	88.5	2,234	95.1	1,455	85.9	1,832	92.8	3,007	85.7	2,398
5	86.8	4,340	78.3	3,456	80.6	2,202	84.8	1,404	95.6	1,767	94.8	2,718	81.0	2,803
6	101.4	4,036	98.3	4,163	93.8	2,770	99.1	1,676	77.6	2,050	91.6	2,400	84.4	2,943
7	96.5	4,447	94.1	3,896	89.2	2,478	89.1	1,586	90.3	1,792	90.2	2,804	90.8	2,685
8	91.5	4,918	87.4	4,208	86.6	2,595	87.8	1,512	95.8	1,700	88.2	2,892	86.8	2,756
9	99	4,315	100.7	3,888	103.2	2,918	95.7	1,608	80.6	2,183	83.8	2,847	88.9	3,087
10	94.7	4,141	92.2	3,920	90.6	2,403	93.6	1,544	100	1,620	86.9	2,510	89.0	2,807
11	84.4	3,982	85.6	3,996	90.8	2,299	94.4	1,403	85.4	1,941	88.9	2,608	80.6	2,634
12	101	4,668	100	4,059	97.5	2,880	90.4	1,482	82.9	1,977	87.6	2,465	88.0	2,870
1	85.6	4,078	93	4,127	93.8	2,174	94.4	1,527	96.4	1,717	90.5	2,734	81.9	2,560
2	98.9	3,924	88.3	3,621	95.8	2,345	100.9	1,622	89.4	1,788	92.5	2,680	84.1	2,890
平均	94.0	4,265	93.4	3,960	92.1	2,535	92.5	1,529	88.2	1,878	90.1	2,717	85.2	2,784
有意差	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし							

月	H農場		I農場		J農場		K農場		L農場		M農場	
	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数	分娩率	総産子数
3	85.7	159	94.1	3,781	92	1,856	93.8	1,499	82.5	2,380		575
4	100.0	318	93.1	3,225	88	1,628	93.2	1,620	75.4	2,071		424
5	86.7	175	89.8	3,413	89	1,588	94.4	1,501	70.2	2,260		477
6	86.7	190	99.2	3,706	80	1,772	85.6	1,344	104.0	2,745		503
7	58.3	224	95.4	3,056	99	1,897	90.8	1,552	76.8	2,125		358
8	75.0	237	79.2	3,270	99	1,887	93.7	1,525	83.9	2,550		519
9	104.3	349	111.1	4,067	93	1,882	92.3	1,503	94.9	2,496		398
10	76.5	188	93.2	3,060	92	1,764	90.8	1,404	70.2	2,364		502
11	84.6	162	87.6	3,601	91	1,807	81.5	1,263	96.9	2,541		423
12	85.7	247	100	3,411	92	1,782	84.7	1,353	94.0	2,533		336
1	104.5	326	94.9	3,082	94	1,774	83.8	1,237	67.8	2,106		464
2	85.7	224	93.5	3,247	91	1,615	89.4	1,412	62.1	1,874		448
平均	86.1	233	93.6	3,410	92	1,771	89.5	1,434	80.5	2,337		452
有意差	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	なし

2023年度
申請成績より

【説明】

- ・認定CM農場から13農場をランダムに選り、夏場の交配が繁殖成績に与える影響を調べた。
- ・各農場の11月から2月の4か月間の分娩率と総産子数の成績を指標とし、3月から10月の8か月間の成績と有意差があるかを検証した。
- ・その結果、11月から2月に繁殖成績が有意に低下したのは13農場中1農場(K農場)のみであった。他の12農場では繁殖成績に有意な差はなかった。
- ・K農場の繁殖成績が低下した原因として、自家AI用の雄豚の更新が順調にできず、精液性状不良の雄豚を夏場に使用してしまったことが明らかになっている。
- ・以上の結果から、SPF認定農場のように飼養管理レベルの高い農場では夏場の交配においても成績が低下しないよう配慮がなされており、特別な事情がなければ繁殖成績が有意に低下することはないのでは、と推察された。

第19回

農場バイオセキュリティ
強化のための
最新情報



去勢豚の事故対策

アニマル・バイオセキュリティ・
コンサルティング(株)

三宅眞佐男

前回の続きです。そもそも雄子豚を去勢する理由は、第一に性成熟後に発生する雄臭が肉や脂身に付き不快臭となるためです。また、脂肪の付着と肉のキメの改善、雄性が弱くなり飼いやすくなるといわれています。令和5年7月26日付けの農林水産省畜産局長通知のアニマルウェルフェア指針(案)ではWOAH(国際獣疫事務局)コードに基づき去勢は「豚の痛みを可能な限り少なくする方法で行う等の条件を満たした上で実施する」とされています。しかし、麻酔薬を使うことは農場現場で現実的ではなく、使用しても施術後の痛みや感染防止にはなりません。牛のように辜丸が垂れ下がっている場合はバルザック去勢器を用いて左右の精索を別々に約10秒間挟む無血去勢法が一般的ですが豚では無理です。

現場で出来る事故対策としてある農場で実施した実験を紹介します。去勢施術後に一般的なイソジン液による消毒



図 去勢施術後のPC塗布

に代えて懸濁水性プロカインペニシリンG(PC)を創口に塗布や注入した結果、事故は1.3%改善しました(図、表)。消毒液の効果は今そこにいる菌をある程度不活化しますが長続きせず、PCは感受性菌を数日間殺す効果があるためと考えますが、雌に比べると限界はあります。観血去勢しない現実的な方法としては免疫学的処置があります。これは2010年に承認された要指示薬インプロバックを使用する方法です。世界63カ国で承認され、広く使用されています。8週齢以上で1回、その後出荷の4~8週前に2回目を頸部皮下に確実に注射します。効果は事故率と背脂肪厚減、枝重と上物率増、飼料要求率改善などが報告されています。しかし、両回とも保定が必要で労力がかかること、と畜時に辜丸の萎縮が不十分な場合は雄として格付けされることがあるので、と畜場や格付協会と情報共有するなどの課題があります。

表 去勢施術後のイソジン消毒とPC塗布の効果

		哺乳中(4週間)				離乳後6週間		計	
		lot数	哺乳開始数	死亡数	死亡率%	死亡数	死亡率%	死亡数	死亡率%
オス	イソジン区	5	1861	104	5.6	60	3.4	164	8.8
	PC区	4	1684	78	4.6	48	3.0	126	7.5
メス	—	9	3196	80	2.5	44	1.4	124	3.9

※イソジン区：イソジン液噴霧 PC区：懸濁水性プロカインペニシリンG塗布

TOPICS

デジタルコンテンツ配信システム「MOPS (モップス)」を活用したSPF 豚農場認定業務

ネットレコーダー
ソリューション(株)
飯島賢士

MOPSはeラーニング・動画マニュアル・販促動画など多用途に利用できる汎用性の高いデジタルコンテンツ配信システムです。動画・電子ブック・テスト・アンケートを自由にくみあわせたコンテンツをどなたでも簡単に作成・配信可能です。どの形式もPC、タブレット、スマートフォンでご利用いただけます。また当社のサーバー/クラウドを活用することで、高いセキュリティによる情報の蓄積とペーパーレス化が可能となります。

この度、日本SPF豚協会に当社のMOPSを採用いただき、SPF豚農場認定業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を進めました。その概要をご紹介します。

【いままでのデータ集計業務の概略】

- ① 各ピラミッドで農場生産成績を集計し、認定委員会用の評価票に転記、ヘルスチェック検査結果や防疫設備・管理調査票、申請書など他の認定資料と共に、期限までに協会まで紙媒体にて提出
- ② 事務局にて集計数字に間違いがないか等チェック後、再度ピラミッドに評価票のPDFファイルを依頼、それをもとに両委員長に事前に成績をチェックいただき、出された質問・意見をピラミッドにフィードバック、認定委員会当日までに回答を準備
- ③ 委員会当日、評価票（集計表）を事務局にて液晶プロジェクターで投影、オンライン出席者とも画面共有しながら、協議し認定審査を実施

【MOPSを活用した認定業務】

- ① 各ピラミッドの認定担当者にMOPSにアクセスするためのIDとパスワードを付与、ピラミッドで集計したExcelデータをもとに、MOPS上に一括転記すると、自動計算された指数等が評価票に反映
- ② GGP・GP農場およびCM農場のヘルスチェック検査結果は各ピラミッドで入力、検査頭数、指数の割合等は自動計算
- ③ ピラミッドの入力終了後、両委員長がMOPS上にアクセス、データを閲覧、検討の上質問・意見をコメント欄に入力
- ④ 各ピラミッドがコメントを確認、回答を入力
- ⑤ 委員会当日、評価票の画面を共有しながら審議

【MOPSによる認定のメリット】

- ① 計算ミスや転記ミスがなくなり、修正等も瞬時に行えるため作業効率がアップ
- ② ペーパーレス化で業務が軽減
- ③ データベース化

- ④ クラウド化のため場所を問わず業務が可能に

過去の生産成績や認定委員会の記録、各農場の個別情報などを一元管理するデータベースを実現しました。ユーザー管理はピラミッドごとになっており、作業中は「登録中」、ピラミッド委員会終了後は「ピラミッド承認」とステータスが決められております。

すべてのデータを閲覧できるのは管理者（事務局、両委員長）のみで、ピラミッドや農場ユーザーは自身の対象範囲のみ閲覧可能となっています。また、各ピラミッドで認定業務が終了した後は、管理者権限でしかデータの変更・修正等はできません。

実際に作業されている担当者のご意見等をいただきながら、使い勝手のいいシステムにしていければと思っております。MOPSには、ほかにもさまざまな機能が搭載されており、認定業務以外にも幅広い活用をいただけます。詳細についてはまたの機会にご紹介させていただければと思います。

図1 MOPS上の生産管理記録表。Excelデータ等をベースとして評価票に転記することができる

図2 実際の認定審査で使用される、クラウド上の生産成績評価票の一部

<問い合わせ先>

ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社
〒350-1122 埼玉県川越市脇田町16-6 岡村ビル4F
TEL：049-227-4001
Mail：information@netrecorder.co.jp

紹介・SPFのお店③

中目黒 野菜居酒屋 はな豆

東京都目黒区上目黒 2-10-8 TEL.03-6303-4218

<https://www.hanamame.net/>



東京都心でも屈指の人気スポット、中目黒。今回ご紹介する SPFのお店「はな豆」は地下鉄中目黒駅から徒歩5分のところにあります。

お店のコンセプトは「農家のおすす分け」。契約農家からその時々旬の野菜を直接仕入れて調理する、素材のおいしさがそのまま味わえる素朴なメニューが評判です。

オーナーの三原葉子さんは会社員時代に野菜ソムリエの資格を取るために勉強していた時、山梨県清里高原出身の同期と親しくなり、実家に遊びに行ったそうです。その家は標高900メートル以上の高冷地でしか育たない「花豆」を栽培していた農家で、おばあちゃんが作ってくれた取り立て野菜たっぷりのお料理があまりにおいしくて、懐かしくて感動したそうです。

お腹いっぱい食べても、胃もたれどころか元気になった気がする新鮮野菜の持つパワーを多くの人に知ってもらいたいとの思いから、2011年「はな豆」をオープンさせました。店名はきっかけとなった「花豆」からとりました。

店内のイメージは「野菜の直売所」。壁は杉材を用いており、ぬくもりのある空間を演出しています。開店当初は店内に杉の薫りがただよって、自然の中にいるような雰囲気を感じ出していたとか。

メインである野菜は契約農家からその時々旬のものを直接仕入れ、素材の良さを損なわないよう、おいしさをより引き出すことにこだわっているそうです。コロナ禍でお休みしていたイベント「野菜食べ放題ランチ」(月2回)も復活し、野菜目当てのお客さんの「おいしい」の声をはげみに、身体にやさしい料理を

と、日々奮闘されています。

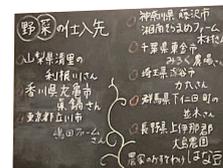
野菜以外の食材も国産にこだわり、わかることから仕入れて提供したいと思っていた三原さんが、開店間もない時期に出会ったのが北海道の認定農場・(有)道南アグロ産の「ひこま豚」。

日浅順一・道南アグロ社長とたまたま知り合ったのがきっかけで、仕入れるようになったそうです。

協会だより95号のレシピコーナーでご紹介いただいた、たっぷりの生姜入り秘伝のたれを使った「しょうが焼き」やたっぷりのレタスと合わせたせいろ蒸し、しゃぶしゃぶなど、野菜とSPF豚のおいしさをさらに引き出すメニューは好評で、特にランチの「しょうが焼き定食」は大人気だそうです。

「ひこま豚は脂もほどよく甘さがあってとてもおいしいですね」と三原さん。メニューに合わせた部位などの注文にも対応してもらえるそうです。

大都会にいながらにして、新鮮な野菜やSPFポークを、リラックスできる空間でおいしく味わえる、貴重な存在ともいえる「はな豆」。機会があればぜひ一度お立ち寄りになってはいかがでしょうか。



店内には野菜の仕入れ先を記した黒板が



「はな豆」オーナーシェフの三原葉子さん

認定情報

●2024年9月認定農場

(有効期間：2024年9月12日から2025年9月末日まで)

北海道・ササキSPFファーム、(有)山中畜産長沼農場、同千歳農場、(有)高橋畜産、(有)ゲズント農場繁殖センター、同肥育センター、**岩手県**・(株)ケイアイファーム北上農場、(農)八幡平ファーム、(農)ジョイフルファーム八幡平、**秋田県**・(有)ファームランド、(有)ポークランド第二農場、(株)ノースランド、**茨城県**・(有)米川養豚場、**栃木県**・サンエス大渡農場、(有)K&Tコーポレーション、**長野県**・(有)岩垂原エスピーエフ農場、(有)クリーンポーク豊丘農場、(農)エスピーエフこがねや第一農場、**千葉県**・豊橋飼料(株)種豚センター、(有)東海ファーム倉橋本農場、同猿田農場、同第1肥育農場、同第2肥育農場、(有)菅井物産販

※次回認定委員会は2024年12月12日(木)の予定

岡SPF農場、(有)下山農場第1農場、同飯岡農場、**岡山県**・全農畜産サービス(株)岡山A1センター、**広島県**・(株)広島ポーク、**鳥取県**・(株)西日本ジェイエイ畜産矢下SPF豚繁殖農場、同上馬場SPF豚肥育農場、同矢下SPF豚肥育農場、**徳島県**・(株)七星食品阿波ファーム、同美波ファーム、**大分県**・(有)九重ファーム、同第2農場、**宮崎県**・(株)ナンチクファーム守山北郷農場、同中川農場、(株)ファームテックえびの農場、**鹿児島県**・(株)シムコ鶴田事業所、同阿久根事業所、そお元気ファーム(株)野方農場、同持留農場、同久保崎農場、(有)新留養豚、高山大規模実験農場生産農場、同肥育農場、鹿児島いずみ畜産(株)江内農場、(株)ファームテック大口農場 (以上48農場)



特別編 新会長はこんな人

鷺谷 敏一
日本SPF豚協会第5代会長



自作のキャラクターたちに囲まれて
(協会事務所にて)

豚とともに40有余年、 次のステップはSPF豚とともに

今号の「SPFのひと」は協会の身内ながら昨年6月に就任した鷺谷敏一会長のご登場です。長い間全農マンとして貢献してきた鷺谷さん、JAグループの養豚関係者はよくご存知とは思いますが、他のピラミッドはじめ会員の皆さまにその魅力ある人となりをご紹介します。

鷺谷会長は東京生まれの東京育ち。東京農工大学獣医学科を卒業後、1981年(昭和56年)全農に入会、飼料畜産中央研究所に配属、その後家畜衛生研究所や各支所、本所勤務、飼料会社や協会ピラミッドである全農畜産サービス(株)への出向など、社会人人生の多くを養豚と関わってこられました。現在は全農畜産生産部生産基盤課に勤務する傍ら、協会会長として事業推進の先頭に立っていただいています。

SPF豚との関りは最初に配属された研究所でのSPF豚作出にさかのぼります。その後1988年(昭和63年)からの札幌支所勤務時代に、SPF豚事業に携わることとなり、赤池洋二・元協会会長、認定農場である道南アグロの日浅前社長、山中畜産の山中社長、ゲズント農場の故勝木前社長やホクレンの技術者の方々など多くの先達の薫陶を受け、SPF豚との関わりが深まりました。全農やホクレンが本格的にSPF養豚事業に取り組み始めた時期とご本人の担当業務が重なったことでSPF豚との縁が深まったといえます。当時「トラックから降ろした途端鼻血を噴く種豚から解放されて、これでみんなが楽になる」と率直に感じたそうです。

この間、直接協会業務を担当されない時期もありましたが、協会事業にずっとご協力下さいました。オブザーバーとして認定委員会に出席、「ちくさんフードフェア」出展の際には率先してお手伝いいただきました。巧みな話術とイラスト(似顔絵が得意です)で、その場その場を盛り上げて下さいました。フットワークの軽さと好奇心の旺盛さでは人後に落ちない鷺谷会長、その趣味や特技にも目を見張るものがあります。寄生虫の勉強(協会には寄生虫好きがなぜか多い、紹介は改めて)、尺八(大師範だった亡き吉田修作・元協会副会長いわく「俺よりうまくなる」)、カラオケ、落語、料理(鍋でご飯を炊いたり、とんかつを揚げたり)、家庭菜園などなど。

特に語学の習得には並々ならぬ意欲と努力を発揮されています。まずは福岡支所勤務で沖縄県担当となった際、経済連の関係者が話す沖縄言葉をわかりたいと勉強を始め、沖縄民謡も原詞で分かるように。沖縄担当から異動になり、次に始めたのがハングル。ラジオ講座を中心にほぼ独学で早や四半世紀、韓国発の口蹄疫やASFのネットニュースを翻訳し、日本SPF豚研究会会報「ALL about SWINE」に寄稿されました(肩書はハングル学習者)。東京都千代田区岩本町の事務所近くでもハングルの看板を見かけると、すぐに訳してくれます。また、獣医師以外にもさまざまな資格をお持ちです。第一種衛生管理者、消防設備士、フォークリフト技能講習修了、高所作業者特別教育修了、などです。

こうした語学や資格の取得が趣味にとどまらず、実益も兼ねているところが会長の会長たるゆえんでしょうか。ハングルは韓国経由の家畜疾病に関する情報収集に役立ち、さまざまな資格は労災防止や法令遵守についての農場指導につながっているとのこと。また、原稿執筆の早さも、外部からのメールや電話での問い合わせに対する的確で穏やかな回答もお見事で、事務局としては大変ありがたい存在です。

全農退職後の第二の人生は「何をしようかな」と思っていたところ、赤池「大」先輩の推薦と、吉田「中」先輩の天国からの声と、北島(克好前会長)「小」先輩の後押しがあって会長職を引き受けたという鷺谷会長。モットーは「上は100歳、下は小学生・園児でもSPF豚を通じてみんなHAPPYになれる事業を目指す」だそうです。会員農場、ピラミッドのために、ますます軽やかに、しなやかに協会を引っ張っていただきたいと思います。皆さま、どうぞよろしくお願いたします。

(編集部)

プロのシェフおすすめ、カンタン、おいしいSPFポークレシピ



SPFポークの黒炒飯



●レシピ提供・北の大衆酒場 キタシブ 24 (東京都渋谷区)

井上 尚文

今回教えていただくレシピは豚ひき肉を使ったちょっと変わった炒飯です。なかなか思いつかない組み合わせですが、うなぎのたれでおいしい炒飯が作れるようです。市販のかば焼きについてくるたれが余って冷蔵庫に眠っていることも。有効活用になりますね。ぜひお試しください。

● 材料 ● (1人前)

SPF ポーク	ひき肉 50g
ご飯	200g
卵	1個
ネギ	20g
創味シャンタン、コンソメ、 ほんだしなどの調味料	15g
うなぎのタレ (なければオイスターソース)	25g
ブラックペッパー	0.5g
紅生姜	5g
油	適宜

● つくり方 ●

- ① 挽肉は油でいため、皿に取っておきます。
- ② フライパンに油を入れ、温まったら卵を入れます。
- ③ ご飯を入れてかき混ぜながら、ブラックペッパーを入れ炒めます
- ④ ①と創味シャンタンなどの調味料を入れ、そのあとにネギを入れて一緒に炒めます。
- ⑤ 最後に鍋ふちからうなぎのタレを入れて炒め皿に盛付けます。
- ⑥ 紅生姜をそえて完成です。

★井上シェフからのアドバイス

- うなぎのタレを使用することで甘味と照りが出て上手に仕上がります。
- うなぎのタレの代わりにオイスターソースを使用してもオッケイです。

編集後記

能登半島豪雨はじめ度々の天災被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

大の里が優勝し、大関に昇進しました。大谷翔平は全人未踏の50-50の記録を超えました。真田広之は、日本人として、すごいドラマの賞を取りました。希代の英雄たちをもてはやす報道しきりです。でもね、僕ら養豚の世界でもホントはすごい記録を持った人がいるはず。受胎率ナンバーワンの交配担当とか、上物率百発百中の出荷担当とか。そんな個人記録はみんなが知らないだけです。僕らはそんなすごい仲間と仕事をしていることを誇りに思っています。(宅乱家半角齋)

今号より「SPFのひと」が中面に、レシピ紹介が裏表紙(8ページ)にお引越します。発送用の封筒もひと工夫いたしました。岩魚さんの編集後記はしばらくお休みをいただきます。引き続きご愛読のほどお願いします。(K)



日本SPF豚協会認定農場産シール

このマークは

日本SPF豚協会の

登録商標です

日本SPF豚協会だより

第97号 2024年10月1日発行(季刊)

発行 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-2

TEL.03-5835-5375 FAX.03-5835-5376

e-mail:j.spf.a@nifty.com

http://www.j-spf.com/

発行人 鷺谷 敏一

編集人 小林 一彦